

2019年 9月号

September

夏期講習終了！ 気になる中3生の成績は…!?! 2学期オススメの過ごし方を大紹介！



内申点ってどんなもの？ 教育改革のキーワード「考える力」を付ける方法！

WILL Educational Seminar Newsletter

WES通信



WILL WES method of hybrid curriculum 教育ゼミ

大阪府公立高校入試における 内申点について

夏期講習も終わり、学校では2学期が始まりました。
しかし、中3生はホッとする暇もなく、9月初～中旬にかけて「実力テスト」が行われます。
そして、10月に入ると中間テストがやってきます。

テストももちろん気になる場所ですが、**ここでは「内申点」について書いていきます。**
中1・2生も「まだまだ先の話や！」とは言ってられない内容になっています。
(ここでは、「一般入学者選抜」の入試について書いていきます。)

【まずは「内申点」の出し方について】

- ①1年生の成績を2倍、2年生の成績を2倍、3年生の成績を6倍して合計する。
(各学年 9教科×5段階=45点満点)
- ②その合計(450点満点)に高校ごとの「倍率」をかける。

皆さんもご存じのように、2018年度入試以降、「内申点」は**1年生の成績から入る**ようになりました。
もちろん、**5教科だけではなく、全9教科の成績が対象となります。**
「2年生、3年生になってから頑張るぞ!」、「副教科はまあいいかあ…。」
などと思っただけは、大変になってくるのです。

【高校ごとの「倍率」って?】

「内申点」を出した後、高校ごとの「倍率」をかけるのですが、「倍率タイプ I～V」が設定されています。

倍率タイプ	入試の点数にかける倍率(満点)	内申点にかける倍率(満点)	合計
I	1.4倍(630点)	0.6倍(270点)	900点 満点
II	1.2倍(540点)	0.8倍(360点)	
III	1.0倍(450点)	1.0倍(450点)	
IV	0.8倍(360点)	1.2倍(540点)	
V	0.6倍(270点)	1.4倍(630点)	

このように、倍率タイプにはIタイプ～Vタイプの5種類あります。
内申点(9教科×5段階=45点満点)を0.6倍したり、1.2倍したり、
また、入試の点数(5教科×90点満点)を1.4倍したり、0.8倍したりします。
そして、どの学校も、「内申点+入試の点数」を900点満点に換算して合否を決めていくのです。

【主な高校の倍率タイプ】

倍率タイプ	高校名
I	文理学科(三国丘・岸和田・生野・高津・天王寺など) 阿倍野・登美丘・金岡・泉陽・東百舌鳥・和泉・久米田・市岡・鳳・住吉・今宮・堺東 千里青雲など
II	清水谷・阪南・花園・堺西・泉大津・市立堺・泉北など
III	堺上など

ここから分かることは、**上位の高校ほどIタイプが多いということ**です。
Iタイプというのは、**内申点に比べて入試の点数を重視する**というものです。

【内申点の具体的な計算方法】

では次に、具体的な例を見ていきましょう。

Aくん	Bさん
1年生の3学期の9教科合計【33】×2=66点 2年生の3学期の9教科合計【35】×2=70点 3年生の3学期の9教科合計【34】×6=204点	1年生の3学期の9教科合計【31】×2=62点 2年生の3学期の9教科合計【34】×2=68点 3年生の3学期の9教科合計【40】×6=240点
1年生～3年生の内申点の合計は 66+70+204=340点(／450点満点)	1年生～3年生の内申点の合計は 62+68+240=370点(／450点満点)

・この2人がⅠタイプの高校を受験する場合 Aくん…内申点340×0.6=204点 Bさん…内申点370×0.6=222点	2人の差は 「18点」
・この2人がⅡタイプの高校を受験する場合 Aくん…内申点340×0.8=272点 Bさん…内申点370×0.8=296点	2人の差は 「24点」
・この2人がⅢタイプの高校を受験する場合 Aくん…内申点340×1.0=340点 Bさん…内申点370×1.0=370点	2人の差は 「30点」



ここからわかることは
Ⅰタイプ→Ⅱタイプ→Ⅲタイプと
なるにつれて、内申点の差が大きくなっています。

内申点の差が大きくなるということは、入試本番での逆転が難しくなるということです。

これは主な高校の合格可能性80%の偏差値と必要な内申点の目安です。
(内申点は450点満点)
(SS=偏差値)

3年生の皆さんは、現時点の自分の成績で、実際に計算してはどうですか？

内申	SS	高校名	内申	SS	高校名
450	74	天王寺(文理学科)	360	55	登美丘
450	72	三国丘(文理学科)	348	53	阿倍野／久米田
445	69	高津(文理学科)	342	52	堺東
440	68	岸和田(文理学科)	336	51	花園
435	67	生野(文理学科)	330	50	阪南／千里青雲
425	65	泉陽	315	47	金岡
404	62	鳳／住吉	295	43	堺西
397	61	和泉／清水谷	290	42	泉大津／東百舌鳥
378	58	今宮／泉北	275	39	堺上
372	57	市岡			

(大阪進研 V-passより)

複雑ですが、内申点はこのように計算していきます。

この内申点に入試本番の点数を足して、総合点で合否が決まるのです。

(入試本番の点数も倍率タイプごとに異なります。)

※Ⅰタイプなら630点満点、Ⅱタイプなら540点満点。前ページを参照してください。

【内申点を取るには？】

内申点を取るために大切なことは分かっていますか？

テストの点数だけではないですよ？

「テストの点数」、「授業態度」、「提出物」など、さまざまな要素があります。

1・2年生の皆さんは、この機会に、今から内申点を意識してください。

3年生の皆さんは、これからでも遅くはないです。

2学期以降、1点でも高い内申点が取れるよう、一緒に頑張っていきましょうね！



二学期の過ごし方

大事な大事なこの時期、どう過ごせばよいのでしょうか？

暑い夏休みが終わりました。部活に遊びに宿題に、もちろん WILL での勉強に……熱く燃えた一か月。それぞれじゅうぶんな手ごたえを感じていることと思います。私たち講師陣も、みなさんの目覚ましい成長ぶりを頼もしく感じると同時に、私たちも負けずに頑張らなければという思いを新たにしています。
※夏期講習の様子については p.8～9 でご報告していますのでご覧くださいませ。

〔二学期を見渡してみよう！〕

そして、8月末からいよいよ二学期がスタートしました。夏の終わりから秋を越えて冬までの4か月間、一年の3分の1にあたる長い長い二学期。中3生は毎月行われる学校のテストや模試に追われる時期ですし、他の学年の生徒もテストや学校行事に忙しい日々が続きます。目の前に迫ってくるイベントに追われてばかりいると、気がつけば「えっ！ もう二学期終わっちゃうやん！」ということにもなりかねません。



定期テストや実力テスト、WILL のテスト対策、学校行事、部活の予定などをカレンダーに書き込んで、それぞれの準備をいつから始めてどのように進めるか、今から考えておくといいですね。細かいスケジュールまで決めなくてもいいですが、二学期の全体像をざっと「見渡しておく」「見通しを立てておく」だけで、気持ちに余裕が生まれます。WILL の年間行事予定表も便利に使えますので、ぜひ試してみてくださいね。

〔「中だるみの学期」にしないために〕

二学期は「中だるみの学期」とよく言われます。理由はいろいろ言われていますが、根っこにある理由はただ一つ。それは「目的、目標がないから」です。

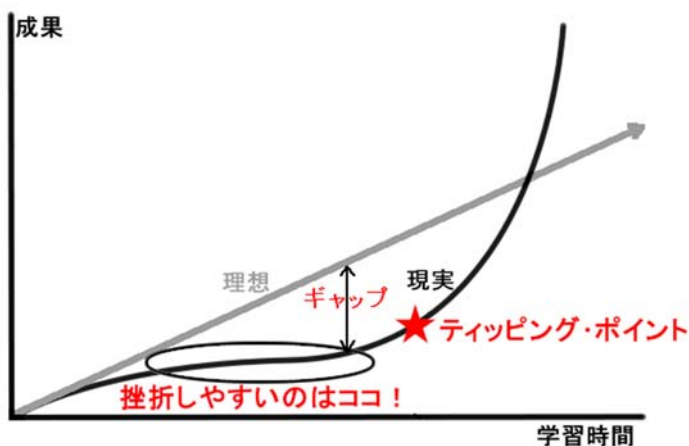
これは勉強に限った話ではありません。「こうなりたい」という自分の理想の姿、目標がなければ、勉強であれ部活であれ、その時間をだらだらと過ごしてしまいますよね？ 一方、「この勉強(この練習)をしたらこんな自分になれる！ それに向けてガンバル！」という気持ちで取り組めば、同じだけの時間を過ごしても、その中身の濃さが変わってきます。

自転車に乗る練習をした時のことを思い出してみてください。補助輪なしでさっそうと自転車に乗る人の姿を思い浮かべ、「あんな風に乗れるようになるぞ！」と思っていたからこそ、何度も転んで痛かったりヒザをすりむいたりしても、投げ出さずに頑張れたのではないですか？



勉強も、ある意味では自転車に乗るのと同じです。何度も何度も練習していくうちに、どんどん簡単に、上手にできるようになってきます。テスト対策などの長時間学習会に何度か参加したみなさんなら、もうこの実感をつかんでいるのではないのでしょうか。目標も目的もなく、ただやみくもに練習を繰り返すのはつらいものですが、「こんなふうになりたい！」という理想の自分を思い浮かべれば、そのための努力を続けられますよね。

〔成績が目に見えて伸びるまで〕



左は学習曲線と言われるグラフです。勉強すればするだけどんどん成績が上がる……私たちはついそんな風に考えてしまいがちです。左のグラフで言えば「理想」と書かれた直線がこれにあたります。でも、「現実」のグラフは違うのです。「ティッピング・ポイント」と言われる★印までは、勉強しているのになかなか成績や点数につながらない時期がどうしても続きます。「こんなにやってるのに……

私にはやっぱり無理なのかな……」なんて考えてしまいがちなのが、グラフを横長のマルで囲んだ部分。特に中3生は夏期講習が終わってすぐ実力テスト、定期テスト、模試と試験が目白押し。その点数に一喜一憂する中で、あきらめに似た気持ちを抱いてしまう人もいかもしれません。そんな時こそ、自分の目的・目標をもう一度見つめ直し、視線を今よりもっと先のゴールに向け直して、なりたい自分になるための努力を続けていきましょう。ティッピング・ポイントは必ず来ます。「がんばってよかった！」と思える日が、絶対にやって来ます。苦しくてもがんばる自分を信じて、ほめてあげてくださいね。二学期も WILL で、みんなと一緒に頑張りましょう。私たちも全力で応援しますよ！

塾長コラム～「目標の立て方」

よく「目標を立てる」といいます。塾へ来たら書く“ミラクルダイアリー”もそうです。

そこにあなたはどのようなことを書きますか？

「一生懸命にやる」「頑張る」「単語を覚える」……とか

また、「フォRESTA P. 56～58をやる」「ワークを終わらせる」……等々。

でも、これってよくわからないですよ。

「一生懸命にやる」と言ったって、その“一生懸命”って目に見えないですよ。

何をもって“一生懸命”なのかって、すごく抽象的で主観的なものでしかないの、

自分では「一生懸命にやった」と思っている、ほかの人からは「適当にやってる」って

思われるかもしれません。

「単語を覚える」といったって、覚える練習をすればそれでOK？

1時間かけて単語を覚える練習をしたとしても、何一つ書けなければどうでしょう。

でも、本人にとっては「覚える」ということはやっているのです。

また、「フォRESTA P. 56～58をやる」と言っても、ただやっただけで、何も身につけていなければ全く意味がありません。

だから、より具体的にする必要があります。

例えば「教科書のプログラム5の単語で、覚えていないものを何も見ずに20個書けるようにする」というのはどうでしょう。

数学にしても、「フォRESTAの56ページの問題を、何も見ずに全問正解になるようにしよう」というのならどうでしょうか？

そうすれば、「ただ覚える練習をする」ということではなく、「単語を覚えるためにはどうすればいいか」という思考になっていきます。

具体的に言えば、「単語の暗記」では、長くて覚えにくい単語の場合は何度も書く必要があることもありますし、比較的簡単に覚えられそうなものは、2, 3度書いて覚えてしまうかもしれません。

そのようにして、目標の数の単語を一通り覚えるのです。

しかし、これで終わってはいはだめで、一度覚えた単語を、本当に覚えているかどうか、何度も確認する作業をしなければならないのです。

それでもまだ覚えられていない単語は、再度覚える練習をするのです。



数学でも同様で、一度目に解いて簡単にできた問題を何度も解く必要はもちろんありません。

逆に、間違っただけの問題やわからなかった問題は、どのようにして解けばいいかを理解する必要があります。

まず解答をしっかりと読んで十分に理解できるようになることが大切です。それでも理解できなければ、先生に質問をすればいいのです。

そうして理解できるようになった問題は、必ず自分で何度も解きなおすことが大切です。

「わかる」＝「できる」ではないからです。

完全にできるようになるまで何度も繰り返すことが大切なのです。

すごく大変な作業かもしれませんが、実は同じ時間勉強して、成績が上がる生徒となかなか上がらない生徒の差が、この地道な作業を行っているかどうかの違いなのです。

大切なことは「一度覚えた、できた」ものを確認する作業なのです。この地道な作業が成績を、ひいては学力を大きく左右するのです。

もう一つ大切なことがあります。

それは、時間に制限をつけることです。時間は無制限にあるわけではありません。ある程度、時間の目安を作って勉強することです。

例えば、「50分で教科書プログラム5の覚えていない単語を20個、何も見ないで書けるようにする」ということです。

当然、そのスピードには個人差があると思います。

自分が実現可能な時間で目標設定をします。そうすれば、その時間集中して勉強に取り組めるようになります。

勉強中に集中力がなく、何となくダラダラと時間が過ぎていくという人は、この時間設定をうまく利用すれば集中力がついてくると思います。

つまり、限られた時間内におけるゴール設定が、勉強の集中力を高めるのです。

努力が結果に結びついてこそ、「やって良かった」と思えるし、自信にもつながります。

だから、行動が結果に結びつくような目標の立て方が大切なのです。

2学期が始まったばかりですが、約1か月後には中間テストが始まります。今度の定期テストに向けて、「目標の立て方」(ミラクルダイアリーの書き方)を、今までとは少し変える工夫をしてみたいと思います。



2019年度「夏期講習」全日程終了！！

「通い合宿」「サマー特訓」もお疲れさまでした！

7月22日（月）～8月30日（金）

4週間におよぶ夏期講習が終わりました。

中1、中2生の夏期講習は、1学期の復習と2学期の学習内容の先取りがメイン。部活動で忙しい中、毎日塾へきている生徒もいました。2学期が始まってすぐに、「夏期講習で勉強したところが授業でやってんけど、めっちゃわかるねん！」とうれしい声をかけてくれる生徒も。

そして、中3生。本当にお疲れさまでした。夏期講習だけでなく部活との両立、夜は抜けてしまった授業の補習、その間の時間を使って学校の宿題…などなど、こんなに大変な夏休みを過ごしたのは初めてだったのではないのでしょうか。



中3生、この夏で**偏差値平均6アップ!**

中3生の夏期講習は、平日朝から晩まで！



今年の中3生も見事な結果を出してくれました！塾全体の平均で偏差値が6もアップしていたんです！！これは、生徒1人1人の頑張りの結果です。なんとなく勉強するのではなく、自ら問題を解き、わからないことをできる限り自分の力で解決し、「できる」ようになったからこそ得られた結果なのです。

この夏で学んだことを2学期に発揮できるよう、学校でも塾でも全力で取り組みましょう！

小学生も本当によくがんばりました！

「ぶっ夏期！」終了！！

7月22日（月）～8月23日（金）

「ぶっ夏期！」と題して、小学生も夏期講習を実施しました。夏休みでしたが、ほぼ全員の生徒が欠席することなく、夏を乗り切りました！いままで学習した内容の復習や、応用問題などにもチャレンジ！10月に実施される英検・漢検に向けて猛勉強しました。

大盛り上がりの「WILL 脳トレ」実施！

がんばった子どもたちへのイベントとして、8/26（月）に「WILL 脳トレ」を実施しました。普段の教科の学習のような問



題とは違い、「推測パズル」や「短期記憶クイズ」など、大人でも頭

を悩ませるような問題に、子どもたちは脳をフル回転させました。

今回も大接戦を制し、見事優勝したのは小6の A.T 君！また、上

はたから見れば、異様な光景ですが、問題を解くための近道なのです。

位に小4生も入賞するなど、大健闘をみせてくれました。終始、大

盛り上がりの「WILL 脳トレ」でしたが、ただ、盛り上がるだけでなく、

出題された問題に必死で挑もうとする子どもたちの「思考力」には我々講師たちも感心させられました。

この夏で培った知識や学力だけでなく、勉強する姿勢や気持ちをいかして、2学期以降もどんどん成長し続け、自分の力で考え解決できるようになっていくこと間違いなしです。



見事、優勝の A.T 君
おめでとう！！



後援:文部科学省

英検・漢検 受検のご案内



WILL 史上初の英検受検！ 10月5日(土)

今年度4月から中学生、小学生で英検対策を始めて、早5か月が経ちます。中学生は夏休みの間も部活が忙しいなか、時間を見つけて頑張って塾へ来て勉強しました。小学生も普段の授業よりも多くの時間塾に来て英検のテキストを進めていき、1冊丸ごと終わらせた子もいました。リスニング問題も初めは先生と一緒に解いていましたが、今では一人で解けるくらいに成長しました。



いよいよ、10月5日(土)に英検の一次試験があります。

今回受検する中学生も小学生も夏休みの成果を見せられるように頑張りましょう！

2019年度第二回漢検 10月26日(土)

英検と並行しながら漢検の対策も夏休みの間に勉強しました。前回の漢検では17名が受験し、15名が合格するという驚愕の結果を出してくれました。今回は次の学年の級なので、一筋縄ではいかないのは事実です。しかし、検定に合格することだけに意味があるのではなく、漢字の知識や語彙力を培うことに意味があります。その手段として漢検を利用してもらいたいのです。「落ちるかもしれへんから受けへん」というのは実はすごくもったいないことです。漢字をもっと覚えたい！漢字が苦手だから克服したい！という人こそ受検してもらいたいです。漢検受検を希望する方は9月19日(木)までに先生に伝えてください。どの級を受検すればいいかわからない場合も先生に相談してみてください。



WILL 高校部

～個別授業開始～

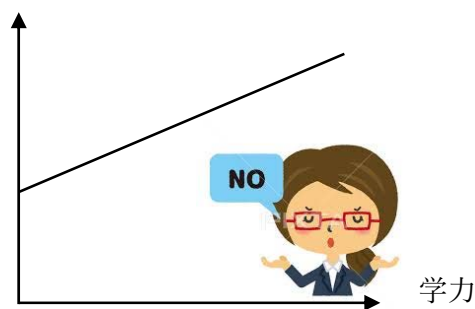
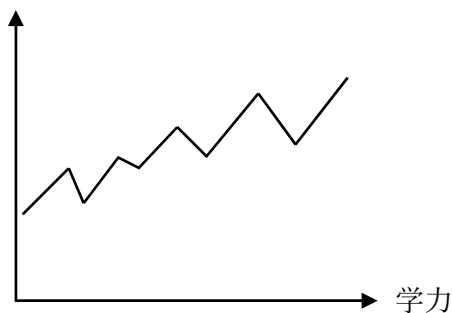
こんにちは、WILL 高校部担当の岩崎です！
さて、9月9日から高校部では個別授業を実施します。

自立型の学習で予習を進めている生徒達を見ていて、
どうしても、分野によっては一人で解いたり、
映像授業だけでは十分に理解することが難しいのではないかと
という疑問がありました。

そこで、一人一人の学力に合わせて、学習を補助するという役割で
個別指導の授業を取り入れることにしました。



しかし、あくまでも高校生の学習の基本は自分で理解しながら進むというもの。
個別の授業に頼りきりにするのではなく、補助として上手に活用して、
自分自身の学力の向上の助けにしてもらえれば、という気持ちです。



高校1年生にとっては学校にも慣れ、高校生活を楽しむ余裕ができてきていることだと
おもいます。1、2年生は1学期から

更なる成長をするために、夏期講習を頑張ってくれました。

その頑張りを活かすためにも、学校の授業をしっかり聞いて
予習で学んだ内容の確認や、定着を目指してください！

3年生にとっては夏が終わり、いよいよ受験本番といった雰囲気を感じるように

なった2学期だと思います。夏の成果はすぐに出る生徒と、じわじわ出てくる生徒と
様々です。焦らずにこれだけやったという自信を持ち、残りの時間を精一杯努力して
悔いの残らないように過ごしましょう！

(文責 高校部担当 岩崎)

2020 年度教育改革 どう準備すればいいの？

いよいよ、来年 2020 年に教育改革が行われます。「教育改革ってどんな風に変更するの？」と疑問を持っている方も多いと思います。今回は、「教育改革の変更点」と「変更前にどんな準備をすればいいのか」をご紹介します。

49% 突然ですが、これは何を表している数字でしょうか。実は、10~20 年後に人工知能(AI)に代替されてしまう職業の割合を表しています。今ある仕事の半分が AI に取られてしまうのです。AI は人間よりも記憶力が当然優れており、記憶力で勝負しても到底勝てません。つまり、20 世紀型の記憶力をつけることに重点を置いた教育では、AI に負けてしまう人を育ててしまうのです。そこで、人間の強みであり、AI が最も苦手とする「考える力」を活かせる人を育てる必要性が謳われているのです。では、2020 年度の教育改革で具体的にどう変わるのでしょうか。

- ①学習指導要領の変更(小学生は 2020 年度、中学生は 2021 年度、高校生は 2022 年度から)
(1)個別の知識・技能 (2)思考力・判断力・表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等 を養う
- ②小学 5~6 年生で本格的に英語の授業が開始(週 2 コマほど、成績評価も)
- ③中高生の英語の授業(日本語ではなく、英語での授業)
- ④小中高でアクティブラーニングの導入(一方的な講義ではなく、対話によって考え方を引き出す)
- ⑤大学入学共通試験の実施(国・数で記述問題の導入。英語は「話す・聞く・読む・書く」の 4 技能で評価)

「これだけ急に大きな変更されたらウチの子はついていけるのかな？」と不安に思う方もいると思います。そこで、『AI 時代を生きる子どもの才能を引き出す「対話力」』(石田勝紀著)をもとに、教育改革のキーワードである「考える力」をご家庭で身につける方法をご紹介します。「考える力」をつけるために、まずは「思考する習慣」をつける必要があります。今回は「思考する習慣」をつける方法を1つだけ以下に記載します。他の方法も気になるという方は是非、この本を読んでみてください。



日常会話で「なぜ？」と「どうすれば？」を問いかける

人間は「なぜ？」と聞かれてはじめて脳が動きます。「なぜ？」と聞かれると考えなければ答えがでないです。「なぜ？」というマジックワードを日常会話に取り入れることで「思考する習慣」が身に付きます。また、「なぜ？」で理由や原因がわかった後に「どうすれば？」と問いかけていくと意見や方法を考えるようになるので非常に効果的です。もちろん、ご家庭だけでなく、我々講師陣も子どもに主体的に考えてもらうように工夫して授業をする必要があります。ご家庭と塾の二人三脚で子どもたちの未来をよりよくしていければ幸いです。

中3生「受験プレミア授業」について

9月12日(木)より、中3生「受験プレミア授業」を開講します。

過去には「土曜特訓」という名称で、通常授業以外に英語・数学のみの受験対策授業を開講していました。そして、一昨年度からは「受験プレミア授業」という名称で、生徒それぞれのご希望に添えますよう、英語、数学だけではなく、他の科目の対策授業も実施しております。

従来、当塾では「入試で特に難しくなる英語・数学に特化した受験対策が最も効果的である」との考えに基づき、英語、数学のみの対策授業を行ってまいりました。そして大きな成果も出てきました。

一方で、「数学は得意で自分一人でも勉強できるけど、社会や理科がどうも苦手、ぜひとも受験対策をしてほしい」などのご意見もいただいております。

当塾では各ご家庭、生徒の皆さんの様々なご希望に沿い、それにお応えしていくべきであるとの考えに至り、一昨年度より他教科の対策授業も実施することにいたしました。

もちろん、英語、数学につきましても、以前にもまして効果的な指導ができますよう、更に充実したものにしていきます。受講科目につきましても、従来は2科目必修としておりましたが、科目を自由に選択できるようにしたいと思います。

「受験プレミア」の詳細につきましては、すでに各ご家庭に郵送しております。ご確認の上、9月10日(火)までに申込書をご提出くださいますようお願いいたします。



時間割とクラスの変更について



例年、2学期以降にクラス・時間割を一部変更して授業を実施しておりますが、今年度は9月9日(月)より新しいクラス・時間割で授業を実施いたします。

※先月号にて「9月2日(月)より」とお伝えいたしましたが、9月2日～の週はクラス変更前の授業進度調節期間とさせていただきます、9月9日(月)から新時間割での授業をスタートいたします。

今回のクラス・時間割変更は、より効率よく、生徒一人ひとりの習熟度やスピードに合致した授業を行うために実施させていただくものです。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新クラスおよび時間割につきましては、生徒にはすでに配付しております。ホームページに掲載するとともに、ご家庭にも送付いたしますので、ご確認ください。

上記につきましてご不明の点等ございましたら、当塾までお気軽にお問い合わせくださいませ。

<WILL 教育ゼミ 9・10 月イベント>

1. 中3生 実力テスト対策

三国丘中・浅香山中 9月7日(土) 14:00~17:00 (夜の通常授業もあります)
9月8日(日) 10:30~16:00
長尾中 9月15日(日) 13:00~16:00
9月16日(月) 9:00~14:30 (夜の通常授業もあります)

2. 中3生 受験プレミア開始

9月12日(木)より開始します。
詳細は本紙p.13をご参照ください。

3. 中3生 三者懇談会

9月29日(日)に中3生の三者懇談会を実施いたします。
※ 時間帯などの詳細につきましては、後日、別紙にてご案内いたします。

4. 英検・漢検

英検 10月5日(土) 13:00 開始
漢検 10月26日(土)13:00 開始
場所:WILL 教育ゼミ

5. 二学期中間テスト対策「ピカ中！」

10月上旬~中旬(予定)
※ 中学校の中間テスト日程により生徒毎に時間割が異なります。
詳細は、後日配布する別紙「ピカ中」のご案内及び個別に配布する時間割を参照ください。

6. 祝祭日

9月16日(月) 敬老の日 塾あり
9月23日(月) 秋分の日 塾あり
10月14日(月) 体育の日 塾あり
10月22日(火) 国民の祝日 塾あり

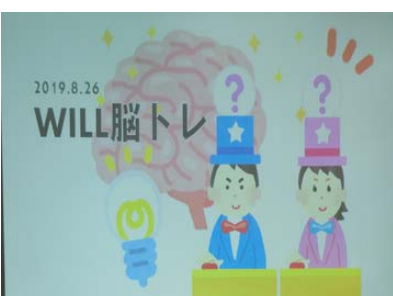
今後、塾の行事予定や参加可否のご確認等の重要なお連絡をコミルでお送りいたしますので、コミルからの通知には必ず目を通していただけますようお願い申し上げます。コミルからのお知らせをご覧になれない等の不都合がございましたら、お手数ですが当塾までご連絡をお願いいたします。

<スケジュール表>

9月 September						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8 実力テスト 直前対策
9 三国丘中3 実力テスト	10	11 浅香山中3 実力テスト	12	13	14	15 実力テスト 直前対策
16 実力テスト 直前対策	17	18 長尾中3 実力テスト	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29 中3生 三者懇談会
30						

10月 October						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5 英検	6
7 長尾中 中間テスト	8 長尾中 中間テスト	9	10 浅香山中 五箇荘中 中間テスト	11 浅香山中 五箇荘中 中間テスト	12	13
14	15 三国丘中 中間テスト	16 三国丘中 中間テスト	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 漢検	27
28	29	30	31			

※黒塗りの日は、塾はお休みです。



堺で生まれて 25 年、子どもたちの未来を育む

WILL WES method of hybrid curriculum
教育ゼミ

堺市北区東雲東町 1 - 6 - 2 3 宝永ビル 2F

Tel 072 (254) 9988 Fax 072 (254) 9998

willzemi@themis.ocn.ne.jp

<http://juketown.com/will-education/>